

本編③「戒律制定は比丘たちの十の利益のため」2020.6.13

比丘たちよ、では、十利のために比丘たちのために学処を制します。

①サンガの素直さのため *saṃghasutthutāya*。

誰であれ如来の言葉を受け容れる *sāmpaṭicchati* 者にはそれ（如来の言葉）は永きに渡って利益・平安のためになる。それゆえ、サンガが「分かりました、尊師 *suṭṭhu bhante*」と私の言葉を受け容れるために私は [学処を] 制定します。

Suvaco と同義。比丘たちが素直に師匠たちの言うことを聞く性格であるために。

②サンガの安穩のため *saṃghaphāsutāya*。

サンガの安穩な共同生活のため *sahajivitāya*。安樂に生活するため。

①②は、各比丘の内面がサンガ全体の梵行に及ぼす影響について。

③悪人を調伏するため *dummaṅkūnaṃ puggalānaṃ niggahāya*。

悪いすなわち悪道德な人を *dummaṅkū nāma dussilapuggalā*、誰であれ悪をおこない苦に陥り罪を作り恥じない者たちを調伏するため。

学処がなければ、彼らが何を見ようとも聞こうとも、「私たちが何をしたのか。何事においてどれだけの罪があるのか示して私たちを調伏せよ」と、サンガを困らせるだろう。しかし学処があれば、彼らにサンガは学処を示して、法によって律によって師の教えによって *dhammena vinayena satthusāsanena* 調伏するだろう。

④善比丘が安穩に住するため *pesalānaṃ bhikkhūnaṃ phāsuvihārāya*、

1・愛すべき性格の *piyasilā* 比丘たちは、すべきこととせざるべきこと、罪あることと罪なきこと、限界や境界を知らないままでは、学びを得て満たすために励み、疲労し、悩まされるだろう。しかし、それらを知って、……励むなら、疲労せず、悩まされないだろう。それゆえ、彼らにとって、学処の制定は安穩住のためになる。

2・悪人の調伏がこれら（善比丘）の安穩住である。悪道德人がいると布薩、自恣、サンガの行事がおこなえない。和合 *sāmaggi*がない。比丘たちが一つの頂点（一境）*ekagga*に向かわない。説示・問い・業処を実践できない。悪人が調伏されるとこのすべての災厄がない。それゆえ善比丘が安穩に修行できる。

③④は、各比丘の外面的行為がサンガの運営に及ぼす影響について。

⑤現世（で果を出す）漏を断つため *diṭṭhadhammikānaṃ āsavānaṃ saṃvarāya*、

現世で果を出す漏が断たれず存在すると、[現世の]自身 *attabhāva* が得るべき打撃がある。それらを断つため。

⑥後世（で果を出す）漏を滅するため *samparāyikānaṃ āsavānaṃ paṭighātāya*、

おこなった悪行為が根となって後世に地獄などで得るべき打撃を断つため。

⑤⑥は、性に関する学処で言われる解脱のためになる／ならない、か。

⑦未信者を信ぜしめるため appasannānaṃ pasādāya、

学処が制定されると、学処が制定されたと知り、制定されたとおりに修行している比丘たちを見て、信心のなかった賢者たちが……。律蔵の書物 potthaka を見て邪見の三明を持つバラモン micchādīṭṭhikativedī brāhmaṇo が信心を得るように。

⑧已信者を増長させるため pasannānaṃ bhīyyobhāvāya、

⑦⑧は、ほぼすべての学処で言われるもの。

⑨正法久住のため saddhammaṭṭhitiyā、

正法は三種：A 学びの正法 pariyaṭṭisaddhamma 三蔵に合誦されたすべての仏語。

B 修行の正法 paṭipattisaddhamma 十三頭陀 terasadhutaḡuṇā 十四犍度部の儀法 cuddasa khandhakavattāni 八十二の大儀法 dveasīti mahāvattāni 戒定観 sīlasamādhivipassanā。

C 得達の正法 adhigamasaddhamma 四聖道・四沙門果・涅槃。

⑩律を愛重するため vinayānuggahāya。

律は四種：防護の律 saṃvaravinaya 捨断の律 pahāṇavinaya 滅諍の律 samathavinaya 制定の律 paññattivinaya

⑨⑩は、学処を制定したブツダの梵行は長続きした……

いずれの比丘といえども、不浄法をおこなえば、波羅夷罪であり共住すべからざるものなり。

6・ある比丘がヴェーサーリの大林にいて、飲食物で鹿を誘って不浄法をおこなった。その比丘が托鉢に行っているとき、別の比丘たちがその比丘の精舎に行くと、その鹿が出てきて尻を向けるので、その精舎の比丘の行為を怪しんで陰に隠れていた。その比丘が托鉢から戻ると、食物の一部を自分で食べ、一部を鹿にやり、その後、不浄法をおこなった。別の比丘たちが、「世尊が学処を制定したのではないか」と咎めると、「畜生とのことではない」と反論。「それは確かだが、そなたは、離欲のためにこの法と律に出家したのに……未信者をして信心から遠ざけ……」世尊に報告。世尊は比丘たちを集め、その比丘に「事実か?」「はい」「この学処を誦すべし (改訂版)」

いずれの比丘といえども、不浄法をおこなえば、たとひ畜生とおこなっても、波羅夷罪であり共住すべからざるものなり。

7・ヴェーサーリ出身のヴァツジ国の比丘たちは、ほしいままに yāvadatthaṃ 食し、眠り、沐浴していた (まだそれらの戒は制定されていなかった)。如理作

意せず *Ayoniso manasikarivā* 学 [処] を放棄せず *sikkham apaccakkhāya* 力弱いことを告示せず *dubbalyam anāvikatvā* 不浄法をおこなった *methunam dhammam paṭisevimsu*.

彼らは後に親族や享受するものを失い病に苦しみ、アーナンダ尊者に言った。「尊者 *bhante* アーナンダよ、我々は仏を非難する者ではありません *buddhagarahino* 法を……サンガを……。自分を非難する者であり *attagarahino* 他者を非難する者ではありません。我々は徳が少なく、よく説かれた法と律に出家したのに、命終わるまで完全で清浄な梵行を修めることができませんでした。しかし尊者アーナンダよ、もし、今、我々は世尊の前で [再び] 出家を得られないものでしょうか。どうか世尊をお願いしていただけませんか。」「分かりました。」

「アーナンダよ、ヴァッジ人とかヴァッジ国出身者のために如来がすでに制定した波羅夷罪の学処を廢することは、道理がありません *aṭṭhānam*。

いずれの比丘といえども、学 [処] を捨てないまま、弱さを告示せずに不浄法をおこなえば、彼が帰ってきてても、具足戒を与えるべきではありません *so āgato na upasampādetabbo*。(註釈：沙弥からやり直しはあり得る。)学 [処] を捨てて、弱さを告示してから(還俗してから)不浄法をおこなえば、彼が帰ってくれば、[再び] 具足戒を与えるべきです。

では比丘たちよ、以下のように、この学処を誦しなさい *imam sikkhāpadam uddiseyyātha*。

いずれの比丘といえども、比丘の学 [処] を生涯具足し *bhikkhūnam sikkhāsājīvasamāpanno*、学 [処] を捨てないまま *sikkham apaccakkhāya*、弱さを告示せずに *dubbalyam anāvikatvā* 不浄法をおこなえば、たとい畜生とおこなうとも波羅夷罪で共住すべからざるものなり。」

- 8・「比丘」とは、乞食する意味、袈裟を着る意味、沙門 (*sāmaññāya* あるいは沙弥) の意味、自称する *paṭiññāya* 比丘、①善来比丘 *ehi bhikkhu*、②三帰依処により具足する *tīhi saraṇagamanehi upasampanno* 比丘、③善 *bhadro* 比丘、③真実 *sāro* 比丘がある(3つとも戒律が制定される前の出家の仕方)が、ここでは④和合僧の白四羯磨により遮難なく価値あつて具足する *samaggena saṃghena ñatticatutthena kammena akuppena ṭhānārahena upasampanno* 比丘。

註釈：八つある。①と②は本文と同じ。③ *ovādapatiṅgahaṇa-upasampadā* マハーカッサパ長老だけ。④ *pañhavyākaraṇa-upasampadā* ソーパーカ沙弥だけ。釈尊が一から十まで問い、それに対する答えにより阿羅漢だと示したが、それでも他の比丘にからかわれ、彼らの悪業になるので、特別に具足戒を授けた。⑤ *garudhammapatiṅgahaṇa-upasampadā* マハーパジャーパティゴータミーに八重法を授けて出家させた。(比丘尼サンガは成道二十年後に

最初の戒律が制定されるより前に成立していた。) ⑥dūtena (使者による) -upasampadā はアッダカーシー比丘尼だけ。娼婦でトラブルで釈尊の面前に行けず、使者を遣って出家を許可された。⑦atthavācikā (八つの言葉) -upasampadā は、比丘尼に出家するのは比丘尼サンガで出家を許可され、比丘サンガでも許可されないといけないので。⑧本文と同じ比丘出家。